



『ガーデニング推進事業』第6弾！みどりのまちづくりに向けて

ガーデニング講座

とき

第6回：2013年3月24日(日) 午後2時～4時

ところ

市役所8階大会議室

プログラム

1部 ガーデニングとまちづくりのお話

- (1)コミュニティガーデンのお話
- (2)草津市でのガーデニングへの取組について

2部 ガーデニング講座(その3)

- (1)ガーデンデザインの方法について(植物の特徴や性質、組合せ、配置など)
- (2)みんなでナチュラルガーデンの作り方を卓上で体験してみよう！

講師
アシスタント

高田 昇(立命館大学教授・都市計画家・ガーデンデザイナー)
嶋かずみ(ガーデナー・一級造園施工管理技士)

グループに
分かれて
楽しみながら
実践します！

3部 緑のまちづくり交流会 45分程度(進行：公園緑地課)

市内の市内の緑化活動や緑に関心のある皆さんが、意見交換をすることにより、さらに楽しい活動への一助となることに加え、絆づくりとなることを願って開催します。

1部 ガーデニングとまちづくり

コミュニティガーデンのいろいろ

- (1)コミュニティガーデンは、一言で表すと「**まちの庭**」。その流れは、今世界で急速に共感を呼び、広がっている。
- (2)元祖と言われるニューヨークでは、続々と個性あるガーデンが「**グリーンゲリラ**」と呼ばれる人々の手で生み出され、2000箇所を超える。
- (3)近い発想は、イギリスでも早くからあった。昔から隣り合う個人の庭を行き来する感覚で、庭づくりに手を貸しあったり、苗を分け合ったり。また、期間を決めて個人の庭を公開する**オープンガーデン**や、みんなで通りの街灯に花の**ハンギング**を飾る。
- (4)もっとも身近には、私たちの国にも「長屋のまち」に代表される暮らしの場で、個人の土地の境界を気にせず、「**軒下緑化**」とも言える鉢植えの連なりが昔から見られた。隣近所でアサガオやオシロイバナなどの種子を交換し合い、わが家の中庭はお隣との垣根越しの会話の場でもあった。



コミュニティガーデンが街に果たせること

個人の庭からまちの庭への発想を広げていくことには、ただまちを花や緑で飾るというだけではなく、まちを特徴づけ、生活の場として生かし、自然や環境の視点を持つという意味がある。

(1)まちを特徴づける

まちの個性化につなげる。それは人びとのプライドにもつながり、それがクオリティの高いまちなみへの行動を喚起させる良い循環となって、土地のイメージを高め資産価値を向上させる。

(2)生活の場を豊かにする

自分の住む家だけではなく、まちは大切な生活の場である。まちが散歩したり、休んだり、お茶をしたり、本を読んだり、生活行動に楽しみを増やせるかどうかは、そこに住む人の幸、不幸にずいぶんと大きな差を生じる。とりわけ子どもの成長を助け、遊ぶ場を増やせると良い。



(3)人が自然と共に生き、都市は環境と仲良くなる

同じ種類の緑や花で模様を描く庭よりも、より多くの植生を取り入れるだけで、季節の微妙な移り変わり、日々の時間、気候の変化を感じさせてくれる。そのことは、風流や感動を覚えるとともに、私たちに自然の生命の意味を伝えてもくれる。



草津市で進むガーデニングとまちづくり

(1)JR草津駅前(アニマート跡地)広場整備・テナントミックス事業

- ①駅前広場のデッキとの視覚的、動線上の一体性を生み出すために、地上面での広場を前面に配置します。
- ②広場は、周辺と歩行者レベルで繋がる動線の拠点となるようにします。
- ③デッキからの景観、地上面からの景観の両面で、草津川跡地利用基本計画がめざす「人と自然 人と人がつながる ガーデンミュージアム」のコンセプトと共通するガーデンデザインを取り入れます。
- ④店舗配置は、広場を十分に生かせるよう、敷地周辺に設けます。
- ⑤店舗は、一棟または二棟として集約すると共に、柔らかかで明るいイメージのものとしします。
- ⑥空間計画は、カジュアル、高感度、ヒューマンスケールをキーワードとし、周辺のまちなみのアクセントとなるような、魅力ある空間を構成します。



(2)商店街ガーデニングストリート事業

通りごとにテーマ性あるガーデンストリートとすることで、魅力ある景観形成や歩いて楽しい空間及び回遊性の創出を図るとともに、草津市の「ガーデンミュージアム」としてのまちのブランド化を確立します。また、ガイドラインづくりやコンテナ制作・維持管理などを通して、商業者や地域住民のコミュニティ形成や、商店街を訪れる人々との交流ツールとしての役割も発揮します。



プロジェクト概要

所在地 草津市大路一丁目字西北ノ端734番地11

計画地
面積 約1,600㎡ (約485坪) 広場を含む面積

用途地域 商業地域・防火地域

施設計画
(案) ・修景施設
・店舗6軒 (飲食・物販 1店舗延床80~120㎡程度)
・夜間照明・ライトアップ

事業手法 ・公共空間部分は主に、修景施設、照明とし、市が整備します。民間施設部分は店舗とし、まちづくり会社が市有地を借地して建設、所有します。公共・民間整備合わせて、施設全体は一体計画として策定します。
・出店者はまちづくり会社と賃貸借契約をし、テナントとして入居の上、営業を行っていただきます。

ショップ
計画
(方針) ・業種は飲食と物販の両方を組み合わせた店舗群とし、営業時間は原則10~22時(物販は20時)とします。
・草津市民が日常利用できるとともに、広域からの集客力を兼ね備えることとします。
・顧客層は、特定の世代に限定せず、親子連れ、高齢者も含めて多世代を想定します。特に、外食や買い物に経験を積み、「目の肥えた」「舌の肥えた」30代~40代女性のニーズに応えられるものとします。
・大量生産大量消費型のショッピングセンターや標準化されたロードサイド型店舗にはない、居心地の良い空間、顔の見える心こもるサービス、オリジナルで安全・安心なモノの提供を求めます。

まちなか活性化の先導的プロジェクトと位置づけ、
人が集まる回遊性の拠点となるような、
個性的で魅力ある店舗を求めます！



「有利な条件」で店づくりにチャレンジできます

内外装は、ご希望を聞きながらまちづくり会社側で設計・施工を行いますので、初期投資を軽減できます。経験豊富な専門家をご相談に応じます。

草津市 ガーデン、ベンチ、照明、舗装など広場の整備を行なう	まちづくり会社 出店者の希望を聞きながら建物を建設し、家主となる	出店者 最小限の出費でオープンが可能となる	月間賃料				
➤	➤		<table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <tr> <td style="text-align: center;">1階</td> <td style="text-align: center;">約3,000~3,600円/㎡ (約10,000~12,000円/坪)</td> </tr> <tr> <td style="text-align: center;">2階</td> <td style="text-align: center;">約2,000~2,500円/㎡ (約7,000~8,000円/坪)</td> </tr> </table>	1階	約3,000~3,600円/㎡ (約10,000~12,000円/坪)	2階	約2,000~2,500円/㎡ (約7,000~8,000円/坪)
1階	約3,000~3,600円/㎡ (約10,000~12,000円/坪)						
2階	約2,000~2,500円/㎡ (約7,000~8,000円/坪)						
 植栽 ベンチ 舗装	 床 壁 天井	 厨房 什器 家具	各店は1階建又は2階建とし、2階のみの利用はできません。				



■お気軽にお問合せください

草津まちづくり株式会社

〒525-0032 草津市大路2丁目11-51
 草津商工会議所内 担当：川口
 TEL 077(564)5201 FAX077(569)5692

個別相談窓口 (草津市の中心市街地活性化担当アドバイザー)

高田 昇 (COM計画研究所代表)
 〒545-0037 大阪市阿倍野区帝塚山1丁目6-3
 TEL 06(6624)2321 FAX06(6624)2737

草津まちづくり株式会社は、草津市の中心市街地の活性化に総合的に取り組む、市民、民間、行政が協力する「まちづくり会社」です。

(3)草津川跡地活用利用計画(ガーデンミュージアム)ー区間⑤の方針

ガーデンデザインについて

■基本的な方向

- ①特徴ある、高いレベルのガーデンをめざす
- ②「自然風」「ナチュラル」ガーデンを基本とする
- ③洋風の模倣ではない「Jガーデン」らしいデザインをめざす



■ガーデンスタイルの展開方向

- ①基本なるガーデンスタイルは一通り揃える
- ②草津川跡地にふさわしいガーデンスタイルを取り入れる
- ③施設づくりとガーデンスタイルを連携させる
- ④セラピーガーデンの要素を取り入れる



ボーダーガーデン

ウォーターガーデン

ショップとガーデン

ガーデンパーキング

植物について

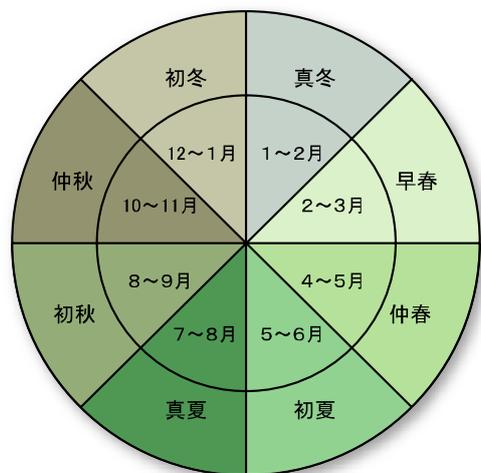
■基本的な方向

- ①五感に訴える植栽
- ②多様な楽しみがある植栽
- ③繊細な季節が伝わる植栽

■植物の取り入れ方

- ①樹木は雑木、里山にある樹種を主体とする
- ②草花は宿根草を主体とする
- ③「八季のガーデン」をテーマとする
- ④生物多様性につながる植栽とする
- ⑤特徴ある風景をつくれる植物を取り入れる
- ⑥草津や滋賀、日本の暮らしに根づいた植物を取り入れる
- ⑦日頃はあまり見かけられない、美しく元気な花に出会える工夫をする
- ⑧植栽によるシンボリックな場所をつくる
- ⑨ショップでの利用と連動させる

八季のシーズンサークル



「八季のガーデン」を構成する植栽例

	樹木		草花	
	中高木	低木	*一年草	
真冬 1月～2月中旬	サザンカ ツバキ マンサク	カンツバキ ジンチョウゲ センリョウ マンリョウ	エリカ クリスマスローズ ケイカ スイセン	* ウィンターコスモス * ストック * ビオラ
早春 2月下旬～3月	ウメ オウバイ コブシ トキワマンサク ハナモモ ベニバスマモモ ミモザ ヤブツバキ レンギョウ ロウバイ	サンシュユ トサミズキ ヒイラギナンテン ミツマタユキヤナギ	クロッカス シャガ セツブンソウ フクジュソウ ムスカリ	* クモマソウ * クリサンセマム * ハナニラ * ローダンセマム * ワイルドストロベリー
仲春 4月～5月中旬	アンズ コブシ サクラ ハナミズキ ボケ ヤマザクラ ユスラウメ	アセビ エニシダ クレマチス コデマリ フッキソウ ヤマブキ	エビネ シバザクラ タイム ツルニチニチソウ ナルコユリ ノシラン ハーデンベルギア バーベナ ハナニラ ヒメツルニチニチソウ	* ミヤコワスレ
初夏 5月下旬～6月	アジサイ アナベル カシワバアジサイ クチナシ シマトネリコ ソヨゴ ナナカマド フジ ヤマボウシ	ウツギ シモツケ ツツジ類 ハクチョウゲ ビョウヤナギ モッコウバラ	アガパンサス カンパニュラ ツボサンゴ ドクダミ バラ マツバギク ムスカリ ムラサキツユクサ ユキノシタ	* ロベリア
真夏 7月～8月中旬	サルスベリ シャラノキ ノウゼンカズラ ブーゲンビリア	スモークツリー ギボウシ ツキヌキニンドウ トケイソウ	アカンサスモリス アスチルベ エキナセア サルビア タマリユウ トラノオ ハクチョウソウ ヒメイワダレソウ ルドベキア	* アオバナ * アスター * トコナツ * マトリカリア * ヤグルマギク
初秋 8月下旬～9月	キンモクセイ フヨウ	ミヤギノハギ	オミナエシ クレマチス セージ類 ヒガンバナ ホトトギス ミソハギ ヤブラン ラベンダー	* キキョウ * クズ * コスモス * マリーゴールド
仲秋 10月～11月中旬	イチイ オリーブ クヌギ コナラ ザクロ ベリー類 マユミ	ナワシログミ ムラサキシキブ	オレガノ キチジョウソウ シュウメイギク ツワブキ ナデシコ ホオズキ リンドウ	* ジニア
初冬 11月下旬～12月	カンツバキ ニシキギ ヒイラギモクセイ モミジ・カエデ類 ユズ	アケビ ギョウリュウバイ ニシキギ	オキザリス ジャノメエリカ ヒマラヤユキノシタ ユリオブスデージー ローズマリー	* クリサンセマム * プリムラ

水景について

■基本的な方向

- ①街なかでこそ、自然を回復し、生物多様性を実現するために水を取り入れる
- ②ガーデンと施設の魅力を高めるために水を生かす

■水景の展開方向

- ①多様な水景により、多様な植生環境をつくる
- ②小さな生きものが共生する「ビオトープ」をつくる
- ③水の自然な流れ、変化ある水景をつなげる
- ④水を「ガーデンミュージアム」の多様な仕掛けに生かす



浅瀬のせせらぎ



多くの生きものが繋がるビオトープ



水遊び場ともなる流れ

2部 ガーデニング講座(その3)

ガーデンデザインの方法について

1. イメージづくり——まず白いキャンパスに向かう画家の気分で

- (1)自分が描きたいのはどんな風景なのか、伝えたいこと、表現したいことは何なのか。どんな要素を盛り込むと効果的かといったことを想像する。
- (2)思い描くのに参考となるモチーフや題材は、やはり自然界であり、山や小川、湖、森や草原、畑など田園風景など
- (3)絵を描くことと違っているのは、植物は生長し、季節によりガーデンは姿を変えるという要素が加わること



イメージづくりに生かせる自然の風景

2. プランニング——基本となる「型」をもとに、「型」をくずすのはそれから

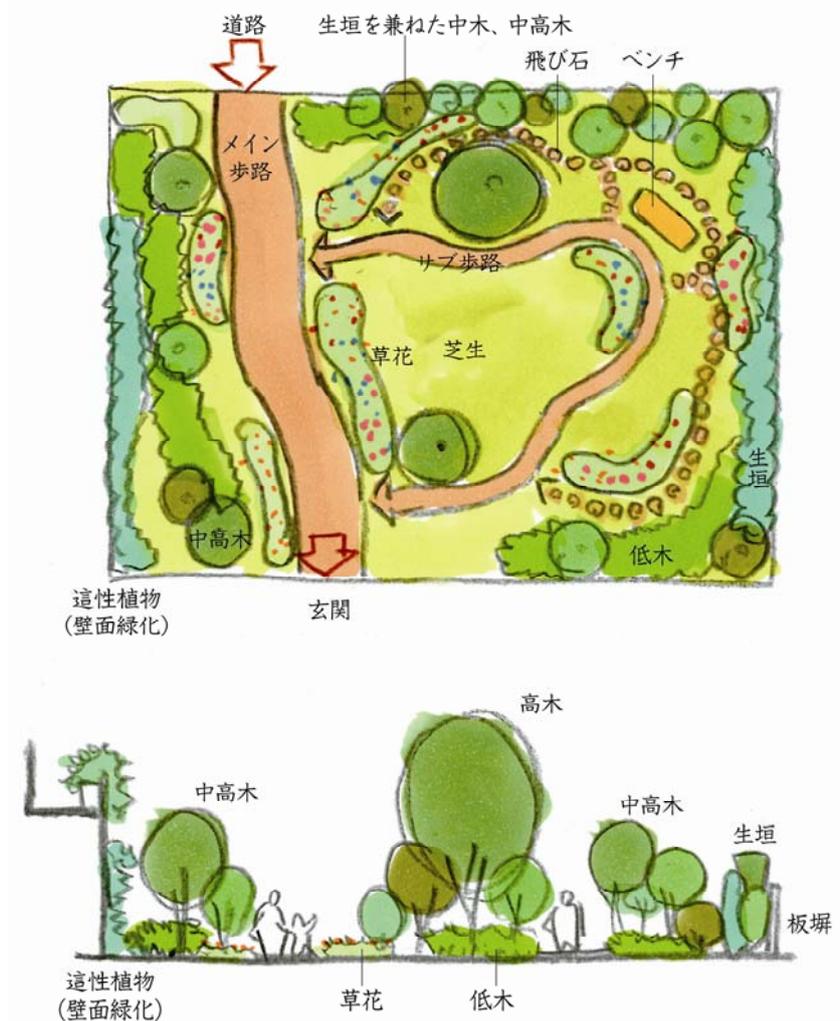
- (1)イメージした風景をガーデニングスタイルに置き換えてみる。高山植物園はロックガーデン、小川や湖はウォーターガーデン、最もオーソドックスなボーダーガーデンは、野辺の道に通じる。
- (2)描いたイメージは一つではないだろうから、型を組合せ、繋げていくのも良い。ロックガーデンに小さなウォーターガーデンが続くのも自然な風景が生まれる。
- (3)ボーダーガーデンは、文字通り「境界」を形づくるガーデンで、帯状に展開する。歩く道沿いに芝生を囲うように、あるいは生け垣や壁沿いに、主に多年草の花やハーブを中心に植える。



バルコニーを立体的なガーデン空間にするデザイン・植栽例

3. スケッチを描く—できあがりを「絵」にしてみる

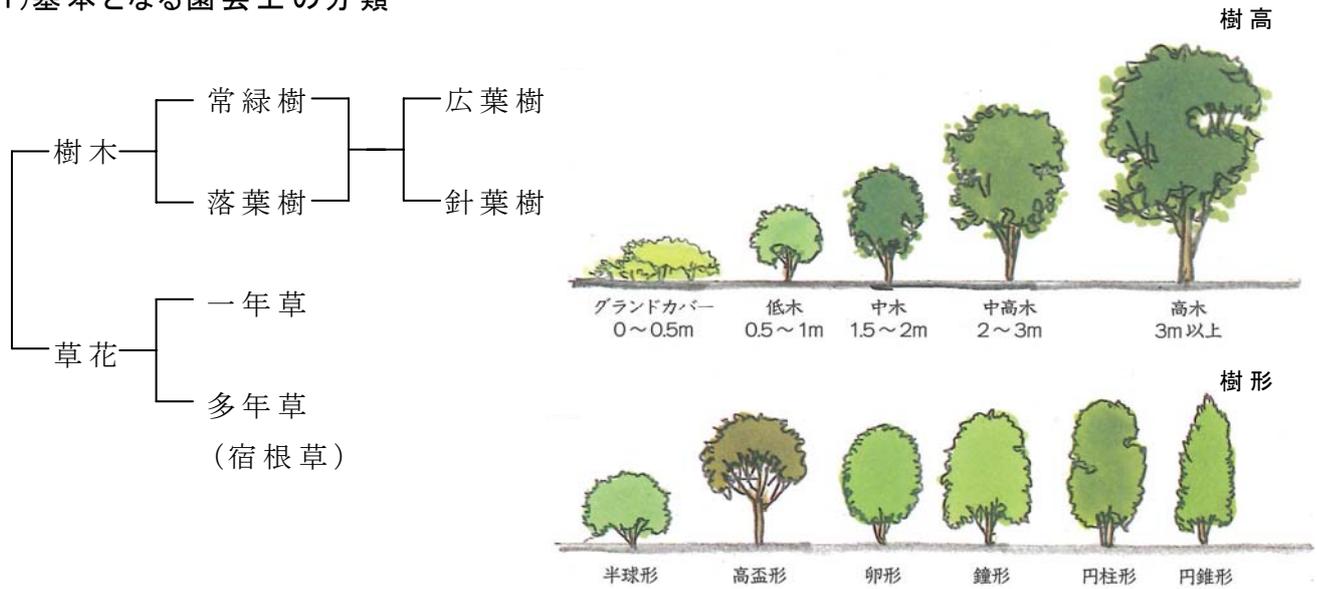
- (1)頭の中でまとまり出したプランを形にするために、「絵」を描いてみる。その時、場所や方角、広さなどを生かすレイアウトや、どこからの眺めを大切にするかといった視点も押さえておく。
- (2)見る位置や人の動きを把握し、どんな風に見せたいかという視点を意識する。また、立ち止まる、ベンチに座る、寝転ぶなど庭で何かをすることについても思いをめぐらせておく。
- (3)ガーデンの型をどう選び、組み合わせるか、主な植物をどう配置するかといったことを、平面や立面で表現してみる。



動く、休む、眺めるなどの「見え方」を意識しながらのスケッチ

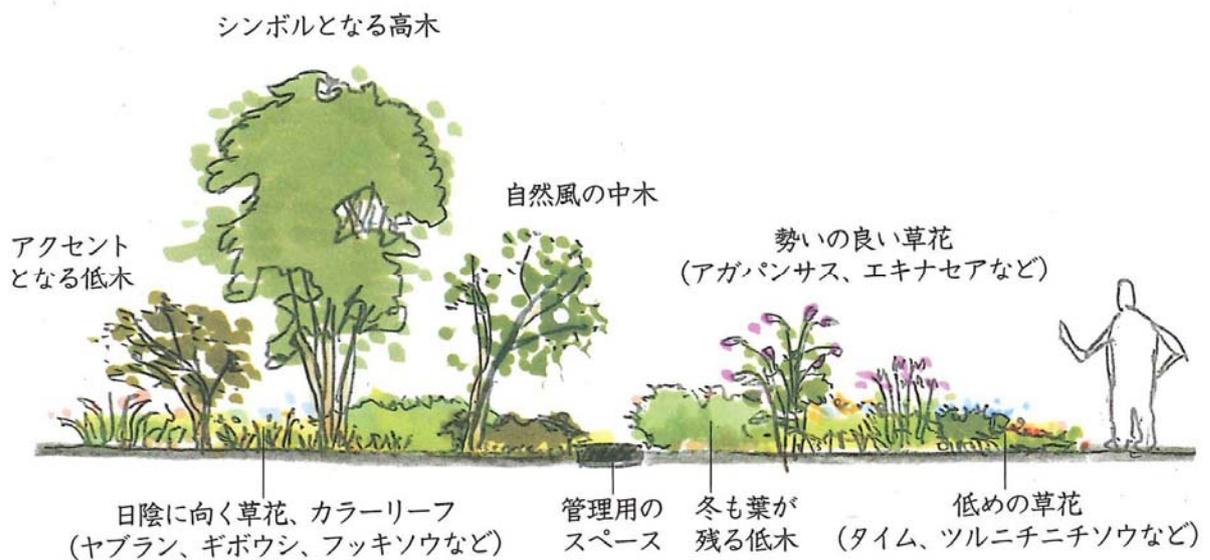
4. 植物を決める—植物の種類の基本をおさえて選ぶ

(1) 基本となる園芸上の分類



(2) 草木のスタイル(樹形・樹高など)

(3) 花期



植物の選定、組合せ、配置の手順でガーデンの「形をつくる」

第1回

アニマート跡地緑化広場

ワークショップのご案内

草津市では、まちなかを元気にする取り組みを進めています。その先導的プロジェクトとして、JR草津駅前の市有地を活用して、草津市と草津まちづくり株式会社が連携し、高質な緑化広場と魅力あるショップ群をつくります。

緑地広場の整備では、まちづくりの主テーマの一つであるコミュニティガーデンのモデルとなる、質の高い空間づくりが求められており、市民のみなさんの意見を反映した計画とするため、ワークショップを開催することとなりました。

みなさんの思いを形にし、この場所が多くの人が訪れ、憩い、集う場となり、ここから人の流れや緑の空間がまちなかへ広がっていくことをめざします。

是非、お気軽にご参加ください。



イメージ図

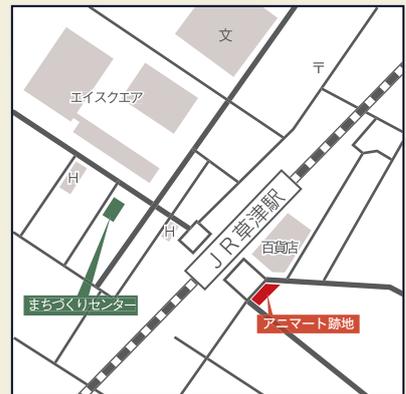
日時 平成25年4月13日(土) 10時~12時

場所 まちづくりセンター2階201・202会議室
(草津市西大路町9番6号)

内容 1. 広場全体計画の方針、イメージについて
2. 植栽エリアと植栽イメージ、主な植栽配置について
3. グループワーク

コーディネーター

高田 昇 草津市の中心市街地活性化担当アドバイザー
立命館大学教授・都市計画家・ガーデンデザイナー



JR草津駅西口から琵琶湖方面に直進、約200mセンターには駐車場がわずかしかありません。公共交通機関、またはバイク・自転車・徒歩でお越しください。

草津市内に在住・通勤・通学の方を対象とします。

ワークショップは全3回を予定しています。(第2回は6月15日(土)、第3回は8月3日(土)の予定です)

ワークショップのなかで、アニマート跡地でのガーデニング活動を行なうグループづくりも進めていく予定です。

-----キリトリ線----- ✂

いずれかの方法で下記内容をご連絡ください。

- ご持参の場合 草津市総合政策部まちなか再生課 (市役所2階)
- メールの場合 machinaka@city.kusatsu.lg.jp
- FAXの場合 077-561-2482 (この用紙をご利用ください)

参加お申込み

締切4月5日(金)午後5時まで

フリガナ 氏名	住所〒
電話番号	FAX番号
メールアドレス	年齢 歳

*個人情報、ご案内やご連絡のために使用するものであり、法令の規定による場合を除き、本人の同意なく目的以外に利用いたしません。

お問合せ 草津市総合政策部まちなか再生課 TEL(077)561-2399 FAX(077)561-2482